

# 手をたずさえて

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年11月30日(金)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## 感動のメッセージ続々と…多くの大切なことを学ぶことができました! 3年生からの太郎さんへのメッセージ



■ 講演ライブまでの間、毎日お昼の放送で太郎さんの曲を聴いていたのですが、とても上手でさらに盲目であるということに驚きました。講演ライブ当日女性に連れてこられた太郎さんを見て、本当に盲目なんだとその時にやっと実感がありました。太郎さんの話を聞いているうちに、校長先生が言っていた「太郎ワールド」の意味がわかってきました。本物の演奏は、お昼の放送で聴いていたものとは違いました。臨場感あふれる演奏で、ヴァイオリンの弓を弾くときのかすかな息づかいなど、その場でしか味わえない演奏でした。また、「生きる」ということについても大切なことを学ぶことができました。太郎さんの話から、人は一人では生きていくことができないと改めて気づかされました。生きていくと必ず嫌なことだったり、大変なことだったりすることがありますが、その分、それらが成長であったり、楽しさ、うれしさに感じられるので、生きていくことのすばらしさ、この命の尊さについても改めて気づくことができました。私は将来看護師になりたいです。そして、まわりに必要とされる存在になり、人のために生きていきたいです。今回の講演ライブで音楽のすばらしさや生きることのすばらしさを改めて知ることができました。(3年女子生徒)

■ 僕は、どんな曲が聴けるのか、どんな話をしていただけるのかと、今日のライブをずっと楽しみに待っていました。今日の演奏を聴いて、本当にすばらしいと思いました。僕はピアノを弾いているのですが、鍵盤を見ずに弾くことはできません。なので、太郎さんの技術は本当に凄いなと思います。ヴァイオリンも本当に美しい音色でした。テレビなどで聴いている音色よりずっとなめらかで気持ちのよい音色だと思いました。しかも、太郎さんは感情をしっかりと込めてヴァイオリンを弾いていたので、とても感動しました。太郎さんの歌にも感動させられました。歌詞に込められた思いを僕たち全員に伝えることができるように歌っていた太郎さんの歌は、本当にすばらしかったです。一つ一つの言葉がとても聞き取りやすく、太郎さんの気持ちがよく伝わってきました。他のことなど一切に気にならないで聴き入ってしなうほどの美しい歌声でした。(3年男子生徒)

■ 私は「増田太郎」に驚きを隠せませんでした。とにかく、明るい！おもしろい！ステージにた太郎さんの第一印象はこれでしかなかったです。そして、初で生の演奏を聴いて「ヴァイオリンってこんなにもキレイな音色をしているんだ」と感動する自分がありました。でも、それは違って、確かにヴァイオリンという楽器自体がキレイな音色なのは素人でもわかります。私はこう捉え直しました。「太郎さんの想いが上手にヴァイオリンにのせてあるから、よりキレイな音色が奏でられるのかも」と。太郎さんの話を聴いて、誰かと支え合うことによって「人」として生きていけるのであって、喜怒哀楽を忘れず、そして想いをしっかりと伝えていくことが大切なのだ学ぶことができました。家族、好きな人、友人、クラスメイト、先生方などなど、自分がこれから生きていく中でかかわっていく人たちにしっかりと届くように伝えていきたいと思いました。「ありがとう」「ごめんね」「大丈夫?」「好き」この世には数え切れないほどの言葉があります。一つ一つ心を込めて、相手に届けていきたいです。平成最後であり、私にとって中学校生活ラストでとてもgoodな時間を過ごせました。(3年女子生徒)

■ 前日、お昼の校内放送で増田さんの曲を聴きました。特に「ひまわり」という曲は、震災で傷ついた時の、あの時の私達を元気づけてくれるような曲で、感動させられました。目が見えないということは、今まで大変なこと、苦しいこともたくさんあったらと思います。会場で歌い、ヴァイオリンを弾いている時の太郎さんは、とても生き生きとしていて正直圧倒されました。そして、生きていく今を大切にしていこうと思いました。「生きる」に「生きていくということ 命があるということ 必ずいつかは死ぬということ だからこそ命を大切にすること 命のバトンをつなぎリレーしていくということ」というフレーズがあります。これから、嬉しいこと、苦しいことがたくさんあると思います。ですが、「命がある」それだけで、自分は今までやってこれた過去があるということに自信ができます。だから、私は「生きていく」自分を誇りに思い、限りある命を生きていきます。(3年女子生徒)



■ 今回、太郎さんの教育講演ライブでたくさんの方のことを学ぶことができました。私は、今まで越えることのできない高い壁に出会ったことはありません。しかし、この講演ライブを聴いて、そのような高い壁を乗り越えるためにどうしたら良いのかを学ぶことができました。すごく高く乗り越えるのが絶対に無理だと思われる壁でも決して下を見ずに、前を向いて進んでいくこと。一人で無理なら、たくさん仲間と協力して進めばよいことなど、人生に役に立つ言葉の道具をたくさん手に入れることができました。私の中で一番印象に残っているのは、太郎さんと2年生4名による「生きる」の朗読とヴァイオリンの演奏です。今、大きな大きな人生の選択の場に立っている私達には、本当に心に響きました。言葉の一つ一つが重く、ずっしりと心の中に降ってきました。人は一人では生きていけない。人は共に助け合いながら生活している。そんな当たり前のことに気づかずに生活していましたが、今回の講演ライブで気づかされ、心に込めて生活していきたいです。(3年男子生徒)



■ 今回、太郎さんの教育講演ライブでたくさんの方のことを学ぶことができました。例えば、今生きているという幸せや、どんなに困難な壁でも前を向いて進んでいくこと、人は一人で生きているのではなく、たくさんの方に支えられて生きているということです。「希望の景色」や「浜辺の歌」の演奏の時は、大切な人やもの、場所などを想像しながら聴きました。どちらの曲も静かで、とても綺麗な音色だと思いました。静かな音色の中からも太郎さんの伝えたい気持ちを考えながら聴くことができました。最後の「生きる」の朗読と演奏では、とても鳥肌が立ちました。これからは、今回学んだ大切なことを忘れず、生活していきたいと思います。(3年女子生徒)

■ 僕はこの講演ライブを楽しみにしていましたが、その期待を超え、200%ライブを楽しんでいました。盛り上がり、感動し、少し切なくなり、すべてが楽しかったです。「ハイファイブ！」で、こんなにみんなが一体となって盛り上がったのは、やはり太郎さんの盛り上げ方がとてもうまくいったことが大きく関わっていると思いました。電源が切れるハプニングに対しても前向きに変えることができるその気持ちは、杓子定規でネガティブ思考の僕にはとてもうらやましいです。いつかそんな気持ちを持てたらいいなと思っています。一番素敵な曲だと思っていた「ぼくにはきみがいる」。やはり実際に聴いてみても一番好きという考えは変わりませんでした。ギターのようなピッチカートに優しい歌声が合わさり、さらにヴァイオリンの音色。聴いて、僕もギターで弾けないかな?と思い、練習してみたいと思いました。そして、いよいよ「生きる」。一緒に群読をしている2年生がうらやましいと思いながら、耳を澄ませると、詩とヴァイオリンの音色と一緒に耳に入ってきました。互いが互いを支え合っていて、ますます詩、そしてメロディーの流れが素敵になっていると感じ、また泣きそうになりました。本当に楽しい時間でした。(3年男子生徒)



■ 私自身、ヴァイオリンを生で聴くのは初めてで、増田さんが来ると聞いたときは、とてもエキサイティングな気持ちになりました。そして、ヴァイオリンを初めて生で聴き、もっともっとエキサイティングな気持ちが高まり、自分でも驚くほど感心していました。校長先生がおっしゃっていた通り、ヴァイオリン演奏はもちろんです、トーク力がとてもすばらしかったです。こんなにもスラスラ語れて、しかも会場の人々を一体にさせられる人は初めて見ました。何より最初から最後まで笑顔で楽しそうにいらっしやっただ姿に、こちらまで頬が緩んで約2時間ずっと増田さんの世界に引き込まれていました。増田さん自身が目に障害があると分かっている、まるでノーマライゼーションの生活を送っているようで、私も増田さんのように前向きに生きられる人になりたいと思いました。この時間は、私にとって大切で、自分の考えを変えさせてくれた時間だと思いました。最後に握手させてもらって際にも、増田さんの手は温かく、「あっ、この人は緊張の気持ちではなく、心から楽しんでいる人なんだ!」と気づき、より一層尊敬するようになりました。(3年女子生徒)

## 太郎さん近況 11月26日(月)～Facebookより～

映画《くらやみ祭の小川さん》のために作り、奏でた32曲が、ついに完全に手を離れ、来春の公開に向けて旅立っていきました。連日続いていたダビング・編集作業最終日が始まったのが昨日の朝10時。終わったのが今朝7時。作業開始から実に21時間かけ、何度も観て聴いて、手直しを重ね…。物語が終わり、エンドロールがはじまり、そこにつけた曲が流れはじめた時は、やっぱりグッときた。しかし、ここ数日で何度、この作品を観たんだろう。観れば観るほど大好きになっていくことが、たまらまく幸せ!。監督、役者、プロデューサー、撮影、録音、衣装、メイク…それぞれのプロフェッショナルが集まり、たくさんエキストラのみなさんも加わって本気で作り上げた映画に、音楽で参加できたこと、人生の誇りです!胸を張って自信を持って送り出せる作品になったと自負しています。

太郎さん、頑張ってますね。映画楽しみです!本校で太郎さんの講演ライブが実現でき、本当によかった!と思います。最後の誕生日の歌、太郎さんの温かい心遣い、そして生徒のみんな、先生方、参加された保護者の皆様にも感謝します。

